

ΔΥΝΑΜΙΣ

No. 18

1993.7.1

読書の秘密とプライバシー

栗本 雅和

少し古くなるが、1986年10月9日名古屋本社発行の朝日新聞に、次のような見出しの記事が掲載されたことがある。「プライバシーか捜査協力か、悩む図書館」「誘拐への対応で論議」。ことの内容を簡単にいうと、当時、岐阜県各務原市で9歳の女兒誘拐事件が発生した。とりあえずその女兒だけは、無事保護することができたので、警察が、当の女兒に犯人の特徴や手懸かりを尋ねたところ、軟禁された場所で犯人が持っていた本を覚えていて「『山』という字が書いてあり、『913』のラベルだった」と話した。そこで、岐阜県警は、各務原市を中心とした岐阜県南部と愛知県北部にある約十カ所の図書館に対し、捜索令状なしで、①該当する本があるか、②あれば、誰が借りていったかを、問い合わせた。その結果、各務原市図書館が、該当する本をHなる人物に貸し出していることが判明し、結果その犯人のH逮捕にこぎつけることができた、というものである。

以上の事実について、大学生の皆さんはどういった感想をもたれるであろうか。感想は二つに大別できると思う。一つは、誘拐された女兒は無事保護され、各務原市図書館の協力で犯人も逮捕できたのだから、何も問題はないじゃないかというもの。今一つは、図書館が、利用者の読書のプライバシーに関わることを、相手が犯罪捜査の警察とはいえ、令状をもってない(令状は裁判所が発行する)のに簡単に教えたのは問題じゃないかというもの。大学生なら願わくは、後者の感想をもって頂きたいのである。

わが国は、読書のプライバシーも含め、一般に個人のプライバシーということには無神経というか鈍感というか、とにかくその尊重とい

うことをあまり意識しない面がある。欧米などと異なり、ムラ(村)的共同体的意識が強く、そこでのコミュニケーションを何より大切にするわが国民性ゆえの結果であろうが、実はここには民主的な人間関係や社会の在り方に対する認識の重大な錯誤が存するのである。

それは、つまりこういうことである。

現代社会のイデオロギーは、いうまでもなく民主主義であり自由主義であるが、そこで最も重要なのは、表現の自由、すなわち誰にも拘束されない、自由な自分の意思に基づく言動が100%保障されなければならないことである。お互いが、誰かに何かに気兼ねして本当のことを言わない・言えない社会に、民主主義や自由主義はありえない。そこで、ここから結論に入るのであるが、プライバシーの保護や尊重がなぜ必要になるのかといえ、本当のことを言うため・言えるためには、逆にいえば言いたくないことや他人に知られたくないことは、そのまま秘密にしておける社会でなければならないということである。読書におけるプライバシーの保護が必要な理由も、ここにあるのであって、日本図書館協会が1979年に装いを新たにした「図書館の自由に関する宣言」の中で、「図書館は利用者の秘密を守る」。「読者が何を読むかはその人のプライバシーに属することであり、図書館は、利用者の読書事実を外部に漏らさない。ただし、憲法第35条にもとづく令状を確認した場合は例外とする」との自己規律を高らかに謳うゆえんなのである。

Masakazu Kurimoto : 法学部助教授

《文庫訪問》

京都大学霊長類研究所図書室

4月26日、一足早くゴールデンウィーク・・・と思わせるようなボカボカした陽気の中、私達は今回の訪問地である京都大学霊長類研究所へ向かった。名古屋駅より名鉄犬山線で犬山駅まで30分、そこから徒歩15分の道のり。駅から見る風景は、とてものだかだ。左手に犬山城、正面に成田山、右手に日本モンキーパーク、その右手に私達が目指す研究所の建物が見える。きっとこの辺も休日は行楽客で賑わうのだろうが、今日は平日、さすがに静かでのんびりしている。・・・というわけで今回の文庫訪問の目的地、緑に囲まれた研究所の3階にある図書室を訪れた。この研究所は小高いところに建っている、3階といってもとても見晴らしがいい。そこで、お二人の司書の方、佐藤さんと池田さんにお話を伺った。

「サル学」と呼ばれ親しまれている世界の霊長類学の発展が、ニホンザルの野外研究から始まったことはよく知られている。この霊長類研究所は、1967年に京都大学に附置、設立された共同利用研究機関である。その目的は、霊長類の研究を通して生命の誕生、進化の不思議、人間の来し方を明らかにするためである。現在、生理学者、生態学者、生化学者、心理学者や遺伝学者等、様々な分野からの研究者によって共同研究が行われている。ここ犬山のキャンパスには1968年に研究所が建てられた。そして1972年には、キャンパスに隣接している13,000平方メートルの土地を購入、ここにサル類保健飼育管理施設の本棟、検疫棟、放飼実験場などを建設した。1980年に実験用サルの繁殖コロニー、育成舎が竣工し、サル類の自家繁殖体制が整備され、実験的研究の基盤が整った。現在この研究所には、9つの研究部門と2つの附属研究施設があり、所員数は88名である。更に海外での学術調査や外国人研究者の来訪も多く、活発な国際交流が行われている。

私達の目をひいたのは、論文の別刷である。ここ霊長類研究所図書室では、サルに関する学術論文の別刷を集めている。1977年頃から始められたこのコレクションは、今では約1,200タイトル、43,000点にのぼり、サル学界の現況はほぼ把握できる程である。このコレクションの収集方法は次の通りである。ワシントン大学の霊長類情報センターが発行している月刊リスト (Current Primate Reference) には、サルに関する学術論文の書誌事項と著者の住所が載っており、これに基づいて著者に航空ハガキで別刷寄贈を依頼するのである。応答率は85%ほど、注文以外の論文も同封してくれることもあるそう。集められた論文は、第一著者のABC順でカードを作成し管理している。また同センターでは、リスト上の論文を40余りの分野に再編成したパンフレットも発行しているので、あるテーマの論文を一覧したい時にはこのパンフレットを検索して別刷のファイルを見ることが出来る。サルを研究する人にとって、海外で書かれた論文で、しかもまだ日本では読むことのできない論文を別刷という形で見られる。

1989年に飼育室のカギを開けて逃げた賢いチンパンジーのアイには会えなかったが、繁殖コロニーでのんびりと遊ぶサル達を見て楽しむことができた。サルも指紋やつむじのようなものを持っていたり、生理的なあくびの他に威嚇の意味を持つあくびをしたり、スギ花粉症にかかることもある。サルも奥が深いものだと思いつつ、京都大学霊長類研究所を後にした。

京都大学霊長類研究所図書室について

1. 資料 (1993.4.1現在)

- ・図書 和書 4,916冊
洋書 10,028冊
- ・雑誌 和雑誌 15タイトル
洋雑誌 94タイトル
- ・他機関の紀要類 約400タイトル
- ・論文別刷 43,000点
- ・所員の業績
- ・語学テープ、ビデオ

2. 利用

[利用時間]

平日：9:00~17:00

[休室]

土曜日、日曜日、国民の祝祭日
年末、年始

[閲覧者の資格]

研究所教職員の紹介のある者

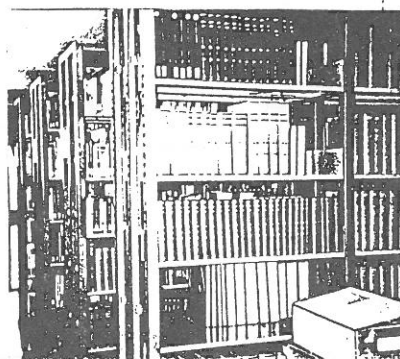
[貸出]

- ・単行本：1ヵ月
- ・製本雑誌：3日
- ・未製本雑誌：15:00~翌10:00
- ・別刷：開室時間中に図書館内でのみ閲覧

京都大学霊長類研究所

〒484 愛知県犬山市大字犬山字官林41の2

TEL (0568)61-2891



< 参考資料 >

サル学なんでも小事典

京都大学霊長類研究所編

アフリカからの発想

河合雅雄編

(1992 講談社)

489K/217

進化の隣人サルとの対話

河合雅雄編

(1985 小学館)

389.4K/305

人間の由来 (上下)

河合雅雄著

(1992 毎日新聞社)

489K/218

霊長類研究所年報

京都大学霊長類研究所広報委員会編集

(1992 小学館)

489K/215/v.1,2

(1992 同研究所)

Z/480/R25

(その他、研究所関係出版物数点所蔵あり。)

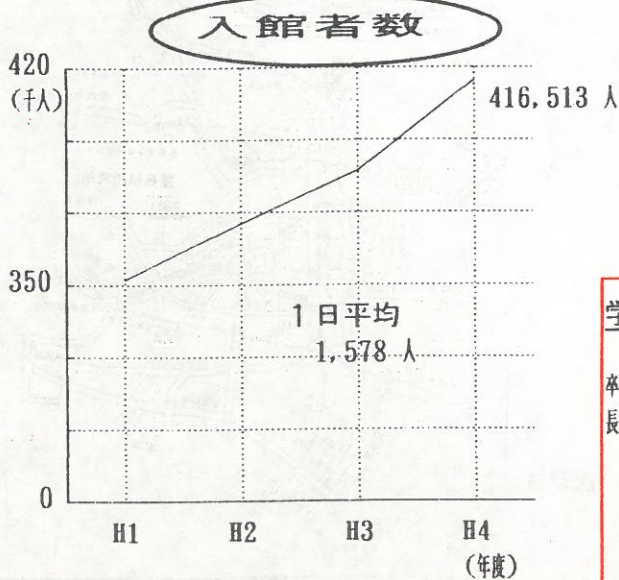
(加藤美紀、喜多島晶子)

とびだす!!

グラフで見る図書館

平成4年度

special 3D版!!



* 3Dメガネの作り方 *

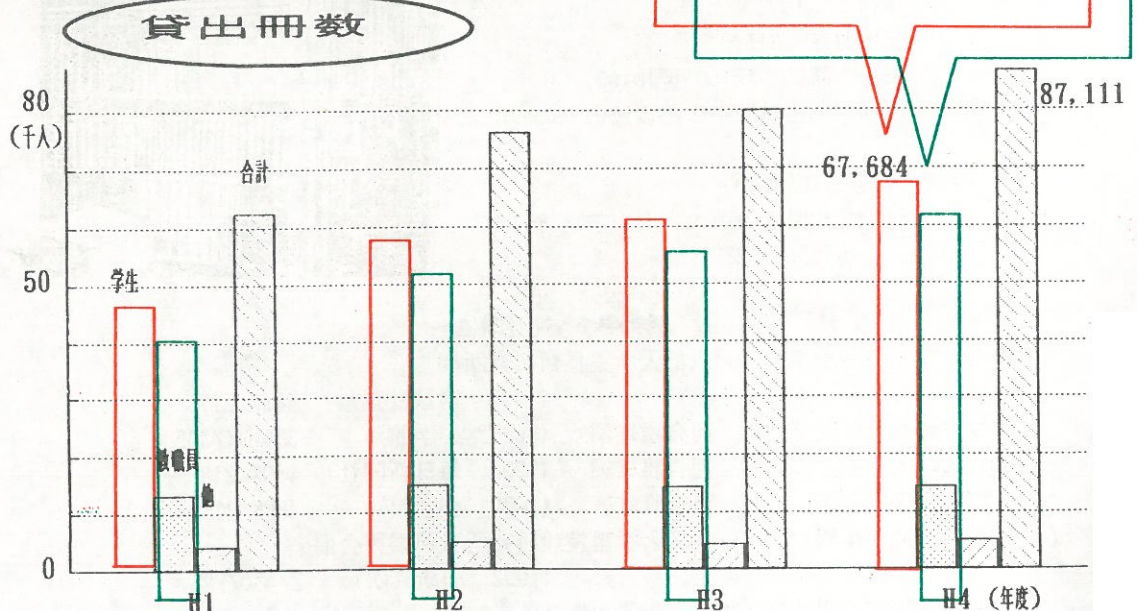
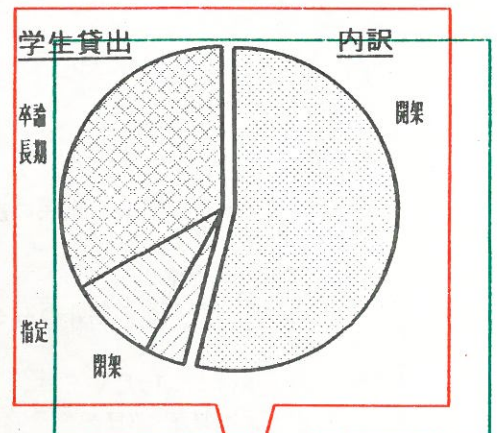
左に
赤セロハン



厚紙

右に 緑セロハン
を貼る

この特殊装置を使えば
あ〜ら不思議! 飛び出して見える
...見える人には見える!!
さあ挑戦してみよう

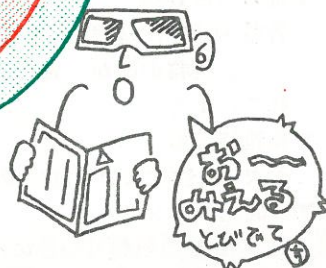
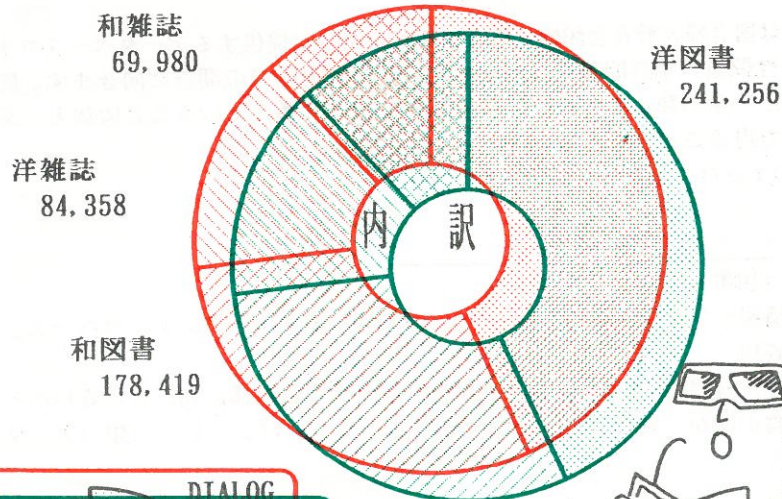


蔵書冊数

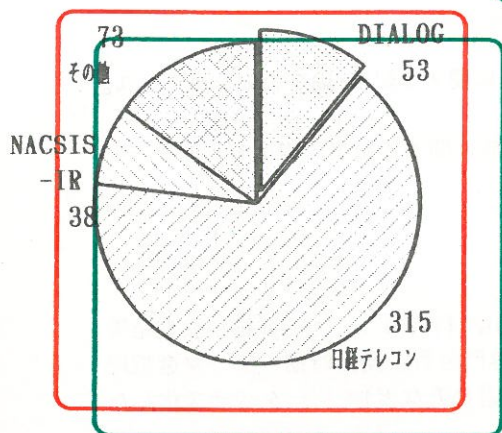
累計

574,013 冊

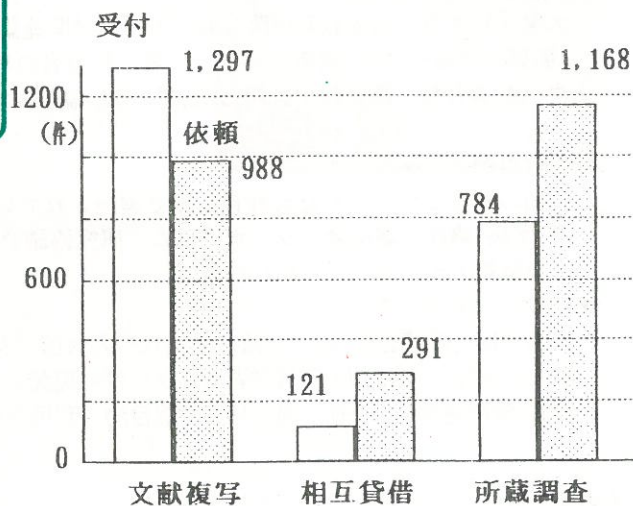
(H5.3.31. 現在)



相互協力



情報検索件数



(閲覧係)

《外部データベース紹介》

W I N E T
Women's Information Network System

Winet(ウィネット)は国立婦人教育会館婦人教育情報センターが提供するデータベースです。フェミニズム、女性問題、家族問題、女性学・家庭教育の実態等の調査に向きます。同じ分野の冊子体の書誌・索引類よりも速報性や検索の多角性に優れていることに加え、文献情報以外の情報をも得ることができるのが非常に大きな特長です。

Winetには次のようなデータベースがあります。

文献データベース

▼図書資料(和書・洋書)

婦人教育情報センターが所蔵している女性・家族に関する図書のデータベース。

▼地方行政資料

各県・市町村の教育委員会、婦人問題担当室など地方自治体が刊行した資料のデータベース。図書のほか、資料の特性上重要となる小冊子、パンフレット類のデータが含まれています。

▼和雑誌記事

逐次刊行物約200誌に掲載された女性および家族に関する記事・論文のデータベース。

▼新聞記事インデックス

全国紙・地方紙約60誌に掲載された女性および家族に関する記事の索引データベースです。

学習情報データベース

▼女性学データベース

大学・短大等の高等教育機関における女性学関連講座・科目についての詳細な調査結果(開講大学名・住所、講座名、テーマ名、担当者の専門分野、開講時期、テーマ選択理由、受講者数、単位数、公開・非公開の別、講義の進め方など)をデータベース化したもの。

▼学習事例データベース

全国の女性センターや社会教育施設で実施されている女性および家庭教育に関する事業(学級・講座、講演会、シンポジウム、研究協議会、セミナー、実技、実習等)についての情報をデータベース化したもの。

▼施設データベース

全国の婦人関連施設(婦人会館、公私立婦人会館、女性センター、働く婦人の家、農村婦人の家等)、都道府県生涯学習センター等の現況をデータベース化したもの。施設名、設置、管理運営者、住所、設立年、設置目的、利用対象者などを調べることができます。

その他、詳しくは参考係におたずねください。

(参考係 紅露 剛)

《ライブラリアンズ・ハート》

図書の寿命？

最近面白く読んだ本に、「ゾウの時間 ネズミの時間」(本川達雄著 中公新書)がある。ゾウにはゾウの、ネズミにはネズミの固有の時間があり、それぞれ違った時間の流れ(生理的時間の速さ)の中で、ほぼ同一の寿命を生きていると言う。人間中心の自然観を揺るがすには十分刺激的であるが、これを図書の寿命に当てはめてみよう。

図書の高齢化に伴う利用度の減少は、分野毎に一定の傾向を示すことは知られており、各々を種とみたまてた統計的寿命を設定することも可能と思える。しかし、個々の図書をみるとその減衰曲線は実に様々であり、また別の仕方ですぐに生き返ったように利用されだすこともある。このように、図書の寿命が生理的寿命と異なるのは、図書が人間の営みとしての文化的所産と言うだけでなく、その生死が、利用する側に大きく依存している点にあることだろう。

図書の評価をするだけでなく、その価値を引き出すことも我々の重要な仕事であるならば、その生死を決する(新しい命を生み出す介添えや時には死の宣告をする)医者のような役割も、我々は担っているはずである。しかし実際には、利用されない図書を殆ど仮死の状態のまま放置しているのが現状と言える。そんな思いで書庫の埃を被った図書を目の前にすると、寿命を全うできない恨みの声が聞こえて来るような気がしてならない。

(栗山義久)

思い出の一冊

"本と出会う。"

それは求めて出会う場合もあれば、突然何の前ぶれもなく出会ってしまう事もある。ちょうど、合コンで始まる恋もあれば一目惚れの恋もある、そんな恋愛や人との出会いと同じ様な感覚が伴う。

今でも心に残る私の「それ」は、高校2年生の時のことで、祖父が亡くなる半年程前に私にくれたのは、ある詩人の作品集でした。正方形に近い表紙は、アンティークのがらくたの写真が薄く緑色に霞んでいて、とても幻想的でした。が、その中身は自分を捨てた母親への屈折した想い・同性愛者や酒場のお姉ちゃんが語り人間臭さが立ち込める、それまでの私が知らない独特のものでした。けっして良書ではないけれど、その本が当時の私にとっていろいろな価値観が在る事を知る、一つのきっかけとなったのは事実です。そして今でもこの本の前には、高校生の私が一種の憧れの念を抱いたまゐる。

特別読書好きでもない私が今こうして図書館で働いているのも、理由はないが、どこかで祖父に貰ったこの一冊の本と繋がっているような気がする。現在57万冊の本を所蔵するこの南山大学の図書館の中にも、誰かと「運命的な出会い」を経験した一冊が、表紙やページの間に想いを秘めて、ひっそり棚に収まっているに違いない。そんな想像に耽りながら本の棚の間をブラブラするのも悪くない。

(図書受入:山口詩子)

ライブラリーカレンダー

1993.7～1993.9

7 月					8 月					9 月				
9:00	4:00	6:30			9:00	4:00	6:30			9:00	4:00	6:30		
	0:00	4:30	8:00	長書		10:00	4:30	8:00	長書		0:00	4:30	8:00	長書
1(木)					1(日)					1(水)				
2(金)					2(月)			閲覧業務		2(木)				★
3(土)			6:00	★	3(火)			のみ		3(金)				
4(日)					4(水)					4(土)				
5(月)				★	5(木)					5(日)				
6(火)					6(金)					6(月)				★
7(水)					7(土)					7(火)				
8(木)				★★	8(日)					8(水)				
9(金)				★	9(月)					9(木)				★
10(土)			6:00	★★	10(火)					10(金)				
11(日)					11(水)					11(土)				
12(月)				★★	12(木)					12(日)				
13(火)				★	13(金)					13(月)				★
14(水)				★	14(土)					14(火)				
15(木)				★★	15(日)					15(水)	敬老の日			
16(金)				★	16(月)				★	16(木)				★
17(土)			6:00	★★	17(火)					17(金)				
18(日)					18(水)					18(土)				
19(月)				★★	19(木)				★	19(日)				
20(火)				★	20(金)					20(月)				★
21(水)				★	21(土)					21(火)				
22(木)				★★	22(日)					22(水)				
23(金)				★	23(月)				★	23(木)	秋分の日			
24(土)					24(火)					24(金)				
25(日)					25(水)					25(土)				
26(月)				★★	26(木)				★	26(日)				
27(火)				★	27(金)					27(月)				★
28(水)				★	28(土)					28(火)				
29(木)				★	29(日)					29(水)				
30(金)					30(月)				★	30(木)				★
31(土)					31(火)									

：開館時間 長：夏期休暇中長期貸出取扱期間

書：3・4年次生書庫入庫日（月・木 pm1:00～4:30, 土 am9:00～11:30）

● GEMMA講習会、文献探索講習会は10月から再開します。

《編集後記》

まぶしく光る夏！

ときめく出会いに

彩られますように...

(R.S, A.I, M.Y)



(タイポグラフィ：平松富美)

南山大学図書館報 デュナミス No.18

1993.7.1.発行

南山大学図書館 広報委員会

編集委員：関川、伊藤(敦)、米田

〒466 名古屋市昭和区山里町18

Tel. 052(832)3707

Fax (G3) 052(833)6986